



# 新しい民生・児童委員の紹介

令和7年12月より、新たに粟井地区の民生児童委員に任命された方々です。地域の皆様に寄り添い、見守りやご相談対応など、そして行政、各機関の橋渡し役を行いますので、よろしくお願い致します。

会長  
**清水 博文**  
【担当地域】  
久保/シーサイド



粟井地区会長として他の民生児童委員の方々と協力し、皆様が笑顔で安心して穏やかに過ごして頂けるよう、行政等への橋渡し役もしながら精一杯頑張っておりますので、よろしくお願い致します。気軽に声をかけください。

副会長 児童福祉部会長  
**白石 恵子**  
【担当地域】  
粟井地区全域(主任児童委員)



私たち主任児童委員は、子どもたちやご家庭の方々が、未来に夢を持ち生き生きとした日々が送れるように、この地域で子育て中のご家庭や子どもたちの困り事などの相談にのっています。お気軽に声をかけてください。

会計  
**定松 修一**  
【担当地域】  
鹿峰/みのり団地



地域の皆さんが住み慣れたこの粟井で安心して暮らせるよう、暖かい地域づくりに貢献できればと思っています。地域の皆さんに寄り添い、見守りや相談支援に取り組みます。どうぞよろしくお願い致します。

高齢者福祉部 会長  
**重松 修二**  
【担当地域】  
本谷/常竹/大西谷/西谷



この度、民生児童委員になりました重松修二です。少子高齢化が進む中身近な相談役として、また行政とのパイプ役として、頑張っておりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

障がい者福祉部 会長  
**河内 浩**  
【担当地域】  
平林/小川谷/麓/客



地域の為に精一杯努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

**有田 貴代**  
【担当地域】  
小川



住みなれた地域の中で皆様が穏やかに笑顔で過ごせますようサポートしていければ嬉しく思います。至らない事も多々あると思いますが皆様に教えて頂きながら成長していきたいと思っています。よろしくお願い致します。

**茅原 明美**  
【担当地域】  
光洋台



地域の方の見守り役、行政とのつなぎ役として、日々の民生委員活動を通して、皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

**舛田 隆司**  
【担当地域】  
磯河内/鴨之池



粟井に来て50年になりました。地域の人には今までお世話になった分、少しでもお役に立てればと思います。わからないことばかりですが、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

**山田 俊彦**  
【担当地域】  
和田/安岡/粟井河原



高齢者の方々に寄り添い安心して過ごせるよう微力ながら、精一杯努めて参ります。よろしくお願い致します。

**西原 晴子**  
【担当地域】  
苞木/高縄団地



暫くの間続けさせて頂き事になりました。皆様のお役に立てるようもう少し頑張ります。宜しくお願い致します。

**津田 貴秀**  
【担当地域】  
市営鹿峰団地



地域福祉のお手伝いに少しでもお役に立てればと思い頑張ります。暮らしやすい町になるよう住民の方の心に寄り添える民生委員になればと思っています。よろしくお願い致します。

**松本 由美**  
【担当地域】  
粟井地区全域(主任児童委員)



子育ての悩み・迷いをひとりで抱え込まないで下さい。話すことで気が楽になることもあると思います。気軽に声をかけて下さい。

# スクールカウンセラーについて



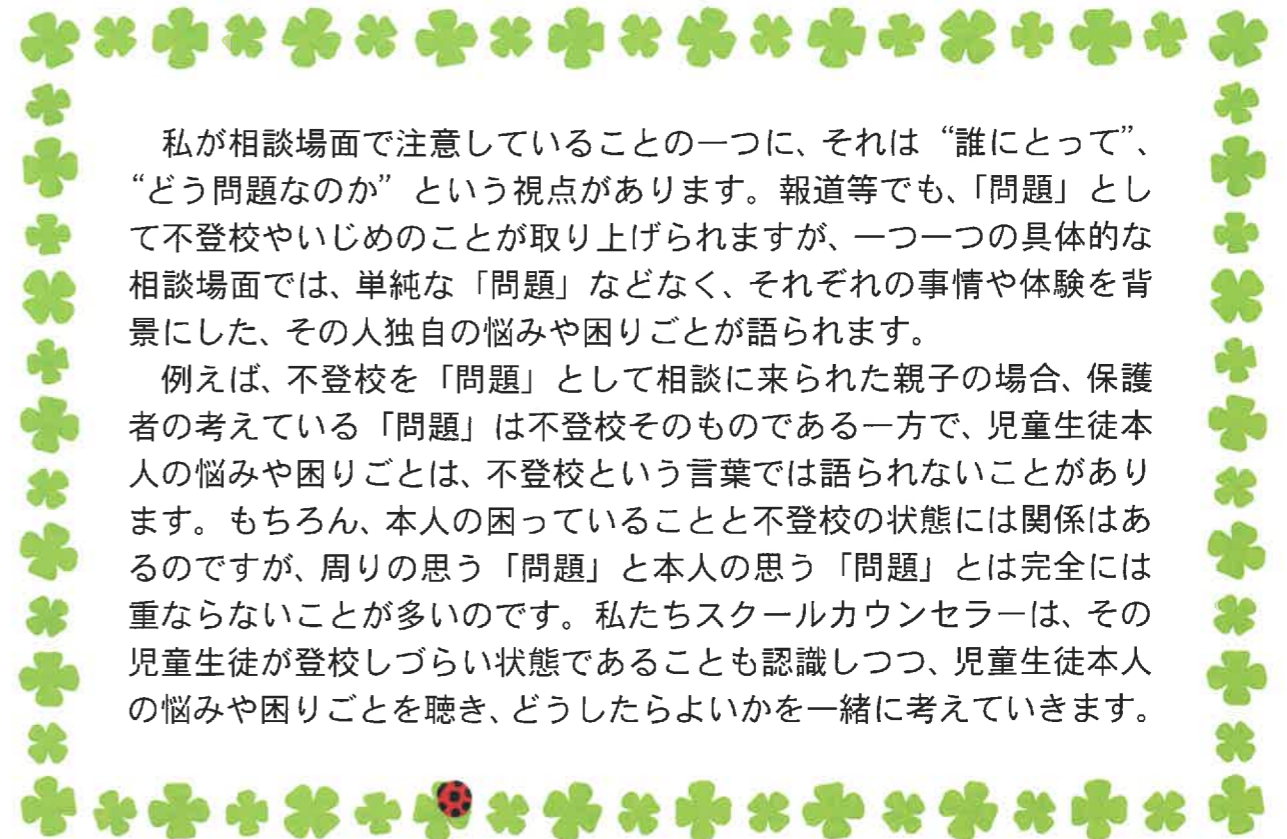
北条南中学校・粟井小学校・河野小学校  
スクールカウンセラー

**熊野 みき**



北条南中学校区にスクールカウンセラーとして勤務しております、熊野と申します。『福祉だより』を通じて、地域みなさまにご挨拶できますこと、とても嬉しく思っています。

さて、スクールカウンセラーという存在をご存知でしょうか。全国的には、1995年から配置が始まり、現在ではほとんどの小中高等学校にいます。愛媛県では、大体週に1回半日、学校で児童生徒や保護者の方々からのご相談をお受けしています。学校に登校しづらい、人間関係で悩んでいる、自分の性格を知りたい、家庭や学校で困っていることがある、などなど色々な相談が寄せられます。



私が相談場面で注意していることの一つに、それは“誰にとって”、“どう問題なのか”という視点があります。報道等でも、「問題」として不登校やいじめのことが取り上げられますが、一つ一つの具体的な相談場面では、単純な「問題」などなく、それぞれの事情や体験を背景にした、その人独自の悩みや困りごとが語られます。

例えば、不登校を「問題」として相談に来られた親子の場合、保護者の考えている「問題」は不登校そのものである一方で、児童生徒本人の悩みや困りごとは、不登校という言葉では語られないことがあります。もちろん、本人の困っていることと不登校の状態には関係はあるのですが、周りの思う「問題」と本人の思う「問題」とは完全には重ならないことが多いのです。私たちスクールカウンセラーは、その児童生徒が登校しづらい状態であることも認識しつつ、児童生徒本人の悩みや困りごとを聴き、どうしたらよいかを一緒に考えていきます。



地域みなさんの見守りや温かいまなざしは、子どもたちにとって、自分の存在が地域で認められ、そこに居心地の良さを感じられることにつながっていると思います。同じように、相談を通じて子どもたちを見守るスクールカウンセラーの存在を知っていただき、ぜひ協働させていただければと思っています。学校の中にいることがほとんどなのですが、見かけてくださった時には、お気軽にお声がけください。